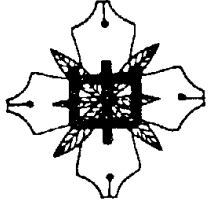


【教育目標】 将来をみつめ「学び考える力」「自他を大切にする心」「たくましく生きる力」を育てよう



# 十中だより

平成28年 2月20日 発行 第10号

発行者:中野区立第十中学校

## 人生が二度あれば！

2月休日の昼下がりに、観るともなしに付けていたテレビが『人生が二度あれば！究極の選択』というタイトルの番組を放映していた。芥川賞作家・又吉直樹さん等が、“究極の選択”をした元アスリート達を訪ね、「人生が二度あれば、どちらの道を選ぶか」を問う番組だ。

志村亮氏(49)は、慶応大学野球部投手として6大学野球で53イニング無失点記録を樹立し、通算31勝を挙げたスター選手だった。プロの即戦力としての期待も高く、8球団がドラフト指名を公言し、8千万円の契約金を提示した球団もあった。

しかし、彼はプロからの誘いを蹴り、大手不動産への就職を選択した。

「なぜプロ入りをしなかったのか？」の質問に、「プロ野球選手は子供の頃からの夢。あの時、行きたいと手を挙げればプロに行けたので、そこで夢は叶った。一度だけの人生、野球だけじゃない違う道を探りたかった」と答えた。

「もし大学時代に戻ったらプロ入りを目指すか？」との問いに、「当時に戻れたとしても、同じ選択をした」と言い切った。現在は、仕事のかたわら少年野球チームの監督をしている。

一方、石塚啓次氏(41)は高校時代に「和製フリット」と称され、ヴェルディに入団した天才サッカー選手だった。ところが、アトランタ五輪の代表合宿をボイコットし、セリエAの入団テストを受けるも契約に至らず、29歳で突然引退するという破天荒なサッカー人生を送った。

引退後はアパレル関連の仕事で成功を収め、現在はバルセロナでうどん店を経営している。

「人生が二度あれば、どの道をえらびますか？」の問いに、「サッカーをしたい。できることなら戻りたい」と答える。そして、こう続ける。

「子供の頃から好きだったのはサッカーだった。洋服屋もうどん屋も成功したけど、そんなに好きじゃなかった。ぼろぼろになるまでサッカーをしたい。引退して初めて分かった。サッカーが本当に好きだったことを…」

サッカー選手時代とは違い、バルセロナの街を見る眼差しはとても穏やかだった。

我々は、生きていく以上、或いは、生きていく以上、大なり小なりの選択をしなければならない。それらの選択は、時に正しかったり、時に間違いであったりする。また、希望通りの選択もあれば、希望しない選択もある。

人生が二度あれば、二度目は後悔することのないよう正しい選択をしたいと思うが、人生に二度はない。ただし、過去の選択を変えることはできなくても、これからの生き方を変えることはいくらかでもできる。

さて、2月も下旬。先日は春一番が吹いたかと思えば、翌日は底冷えのする寒い1日。列島は三寒四温を繰り返し、春を迎える準備に入ったようだ。

春と言えば、先日の天声人語に次のような言葉が載っていた。

「春ほど待たれる季節はなく、  
春ほど待たされる季節もない」

来週は都立一般入試。進路選択の希望が叶い、本当の春が訪れることを願う。



湯島天神の絵馬と梅

## 1 学年百人一首大会



ちはやふる…

2月9日(火)、集会室において1学年百人一首大会が開催されました。

生徒は、事前に「百人一首パスポート」を片手に国語科及び学年の先生の前で覚えた歌を詠みあげ、合格するとパスポートに合格印を押してもらい、次の歌にチャレンジしていました。

当日は1回戦を出席番号順のグループで、2回戦を1回戦で取札の多い順のグループで行いました。和やかな雰囲気の中で熱戦が繰り広げられ、1年生は日本の伝統文化を大いに堪能しました。

ところで、百人一首大会が行われていた集会室前廊下に上履きが整然と並んでいました。こんな詩があります。

### 『はきものをそろえると 心もそろろう』

はきものをそろえると 心もそろろう  
心がそろると はきものもそろろう  
ぬぐとときにそろえておくと  
はくとときに心がみだれない  
だれかがみだしておいたら  
だまってそろえておいてあげましょう  
そうすればきっと世界中の人の心もそろうでしょう



長野県の円福寺で住職をされていた藤本幸邦さんが作られた詩です。藤本さんは終戦直後から多くの子どもたちを寺で預かり、家族のように育ててこられました。ある時、玄関の靴が乱れているのを見てこの詩を作り、子どもたちを諭したそうです。

集会室前の廊下に整然と並んだ上履きは、先生方の指導があつてのことかも知れませんが、その指導を素直に受け入れる態度がなければ、このような美しい脱ぎ方はできません。

はきものをそろえると心もそろろう。

1年生の上質な集団としての成長の要因はこうしたところにあるのかもしれない。

# 小中連携教育研究発表会終わる

1月22日(金)の午後、本校が塔山小学校・谷戸小学校と2年間に渡って研究及び実践を進めて参りました小中連携教育に関する合同研究発表会が行われました。

当日は、研究発表会に先立って1年A組の道徳、1年B組の数学、2年AC組男子の体育、谷戸小の算数、及び塔山小の道徳の授業を公開しました。公開授業は、それぞれ小中2名の教員のTTで行われました。また、授業公開後には体育館で研究発表会と協議会を行い、東京女子体育大学教授で中野区教育委員の小林福太郎先生からご講演をいただきました。

授業のなかった2年女子は、保護者の方々と一緒に受付や案内の役を務め、来校された方々からは素敵な受付案内役にお褒めの言葉をいただきました。

本研究発表会に向けて教職員は小中連携モデル校としての誇りをもって、研究、実践、及び発表準備に取り組んで参りました。その一体感は実に見事で、改めて素敵な職員集団であるとの思いを強く持ちました。

研究発表会は終わりましたが、「本当の連携教育は今後にあり」という共通理解の下、十中はこれまでの研究成果を糧として小中連携教育をさらに進め、中野の教育の充実・発展に努めたいと思っております。長い間、本研究発表会のためにご支援ご協力ご尽力いただきました方々に心より御礼申し上げます。

なお、研究成果として作成したリーフレットをご家庭に配布をいたしました。お目通しいただければ幸いです。



## 東京都中学校生徒会長サミット

1月30日(土)、練馬区立関中学校を会場に「第14回東京都中学校生徒会長サミット」が開催されました。全都から80校175名の中学生の参加があり、本校からも森田会長が参加しました。

同サミットは各校の生徒会で中心になっている活動している会長・副会長が一堂に集い、自分たちの学校で抱えている課題を解決するために何ができるかを考え、実践していくことを目的に開催され





る会です。

当日は全体会の中で都内2校の生徒会活動に関する実践発表があり、その後、6つの分科会で「いじめ問題」「あいさつ運動」「ボランティア活動」等などについて活発な意見交換がされました。

## ☆☆☆ 各種表彰 ☆☆☆

### ☆東京都中学校アンサンブルコンテスト☆

- 打楽器3重奏（金賞）
- 木管6重奏（銀賞）

### ☆英語検定☆

- 準2級  
若松由紀(3)、木内龍海(3)、田中七瀬(3)  
林怜 奈(3)
- 3級  
中林 瑤(2)、荻野大輔(2)、小林志音(2)  
田島彩紀(2)、中里璃莉(2)、村上理子(2)  
佐藤大樹(3)、堀 桃歌(3)、牟田理奈(3)
- 4級  
新里 唯(1)、五味大樹(2)、万浪 耀(2)  
三神優鯉(2)
- 5級  
赤星怜依(1)、兼清 蓮(1)、出水真洋(1)  
戸津百葉(1)、濱中大勢(1)、浪間香苗(1)  
赤星明依(1)、井山もも子(1)、椿賢介(1)  
河野知帆(1)、中林 唯(1)、牧野雅憲(1)

### ☆漢字検定☆

- 2級  
田中七瀬(3)
- 準2級  
村上理子(2)、添田雄大(3)、富塚稚菜(3)、  
河合克俊(3)、
- 3級  
坏 美空(2)、小林志音(2)、万浪 耀(2)、  
八巻 成(2)、神山すず(3)、下山夏実(3)、  
中澤 駿(3)、神丸高志(3)、
- 4級  
柴草美吹(2)、浪間香苗(1)

### ☆卓球研修大会（1年の部）☆

- 樋口 小夏（女子1位）
- 栗原 七彩（女子2位）
- 牧野 雅憲（男子3位）

### ☆バスケットボール研修大会☆

- 女子バスケットボール部（1位）

### ☆社会を明るくする運動☆

- 和太鼓部（東京都推進委員会長賞）



和太鼓部が長年に渡って「社会を明るくする運動」に協力した功績により、東京都推進委員会より感謝状が授与されました。

今年は、十中和太鼓部が創設されてちょうど10年の節目の年。和太鼓部にとっては大いに励みになったことと思います。

和太鼓部の今後の活躍が期待されます。

